

「移動市長室」開催状況

月 日	会 場	人数
10/29 (月)	三泊住民センター みどり会館	8 4
10/30 (火)	千鳥児童センター 礼受会館 浜中会館 港東コミセン	8 2 18 16
10/31 (水)	自由ヶ丘会館 春日住民センター	12 6
11/ 5 (月)	消費生活センター 潮静住民センター	1 8
11/ 6 (火)	住之江児童センター 大町黄金会館 港西コミセン	14 9 20
11/ 7 (水)	中央公民館 萌晴会館 港南コミセン 寿児童センター	2 9 21 3
11/12 (月)	総合福祉センター 花園会館 東部地区公民館	7 10 8
11/13 (火)	幌糠市民センター 風土工房こさえーる 大和田生活館	8 4 7
11/14 (水)	東雲ランド会館 港北コミセン	24 14
合計	25 会場	243

留萌港の活用促進の取り組みの一つとして、フェリー就航に向けた活動を行っておりますが、道内の港でも既存のフェリー航路が休止するなど、現段階での留萌港へのフェリー就航は、非常に難しいのが現実だと考えています。

しかし、留萌港は私たちの貴重な財産であることに変わりはありません。今後、この活動をおして築いた旭川をはじめとする道北圏の経済界や自治体との連携・協力関係を生かしながら、これからの留萌港の活用について、道北地域全体のテーマとして皆さんとともに検討していきたいと思います。

留萌港は、今後どのような活用を図っていくのか

留萌にはもともと「ものづくり」の基盤がありました。水産加工業をはじめ、色々なものを作って売る商売がありました。食べ物であれば今でも豆腐やお菓子（パン）などが市内で作られています。今一度、地域の農業や漁業でとれたものを加工して売る「ものづくり」を広げて、地域の活性化に繋がっていききたいと思います。

▼このほか、防災訓練・避難所（ごみ）不法投棄・処理方法、道の駅（市道）除雪・補修に関することなどについて意見交換を行いました。

地域経済の活性化をどのように図るのか



留萌市民が一体となったまちづくり



留萌市長 高橋 定敏

このたび開催した地域との市政懇談会「移動市長室」では、市内25カ所の会場で243名の市民の皆さんと膝を交えながら対話することができました。私からは、まず現在の留萌市の状況として、財政・地域医療・健康のほか、ごみや上下水道など市民生活に関係の深い情報をお伝えし、これからのまちづくりについて、意見交換を行いました。

特に、「財政再建団体」となった夕張市の報道などを通じて、留萌市の財政状況について不安に感じている方も多いことから、市立病院の不良債務や国民健康保険会計、下水道会計の赤字など、「なぜ、留萌市の経営状況が悪化したのか？」また、「どのような方法で経営の建て直しを進めていけばよいのか？」をお話し、市民の皆さんから本当に多くの貴重なご意見を伺うことができました。

今後も市民の皆さんとの対話を通じた情報の共有を図りながら、留萌市民が一体となったまちづくりを進めていきたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

市政懇談会
& お茶の間トーク

▼市では、市民と市長が対話する市政懇談会や職員が地域に何うお茶の間トークを実施中です。町内会や団体・サークルの会合・研修会などに、ぜひご利用ください。お申込みは、市・企画調整課（☎42・1809）へ。

市の財政が夕張市のように
なるのではないかと不安

市の財政状況は、これまで広報する
もいなどにより、お知らせしてい
るとおり、非常に厳しい状況にあ
ることは間違いありません。

一般会計が赤字となった平成17
年度には、10年間の「財政再建計
画」を策定し、市民のご協力のもと
様々な改善策に取り組み、平成18
年度決算では黒字に転じることで
できました。

しかし、夕張市の財政破綻を受
け、今年6月に国がつくった法律
では、これまでの財政再建団体の
判断基準であった一般会計に加え
国民健康保険などの特別会計と市
立病院などの企業会計を含めた基
準指標も用いて判断されること
になりました。

市では、市民生活や地域経済に
大きな影響を及ぼす「財政再生団
体」を回避するため、赤字の国民健
康保険会計、下水道会計及び市立
病院会計の赤字解消を重点課題
として、市全体の経営健全化に、全
力で取り組むこととしています。

市民の皆さんのご理解とご協力
をお願いします。

市立病院などの赤字はどの
ように解消していくのか？

診療報酬の減額改定による医療
収益の減少や派遣医師の引き上げ
による診療科目の減少などにより
大変厳しい経営状況ですが、地域
医療を担う大切な病院であり、地
域の皆さんの生命と安心な暮らし
を守るためにも、管理者である病
院長と連携・協力しながら、市立病
院の赤字解消に取り組めます。

具体的には病院独自の経営改革
の実行と一般会計からの繰り出し
による支援を柱に、国や道に対す
る医師確保などの要望をさらに強
め、病院経営の健全化を進めます。

国民健康保険会計は、医療費の
負担が増加しています。これは、病
気が重くなつてから病院にかかり
手術や長期入院になる方が増えて
きたことが要因と考えられます。

今後は、食生活・運動などの生活
習慣の改善や定期健診、地域での
健康づくり活動など、市民の健康
増進の取り組みを進め、医療費の
抑制を図っていききたいと思います。

このほか各会計の滞納対策の強
化や公的資金の借換え、税率の見
直しなど、あらゆる健全化策の検討
と実行により赤字の解消に努めます。